



第1094号  
2008年9月28日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

- ◇9月の代祷・信施奉献先  
▽わかちあい募金のため▽山谷兄弟の家伝道所まりや食堂の働きのため▽タイのHIV感染者及びAIDS発症者支援のため▽心臓病児保育活動のため
- ◇10月の代祷・信施奉献先  
▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため▽月島聖ルカ保育園のため▽こどものためのミニストリーの働きのため▽教役者緊急援助資金のため(10月第3主日10・19)▽社会事業の日(10・26)
- ◇堅信受領  
9月21日 浅草聖ヨハネ教会  
▽小林廣司(聖ヨハネ)
- ◆とこしえの平安  
9月16日 柏木美代子(72)

▽聖路加国際病院礼拝堂オル  
聖マーガレット

今週・来週の予定

- 9月28日～10月11日
- 28(日) 聖霊降臨後第20主日  
主教巡回 聖オールバン教会  
城南G教会協議会 (聖パウロ)
  - 29(月) 多摩G教会協議会 (八王子復活)
  - 30(火) 環状G教会協議会 (聖マルチン)
  - 10月 下町G研修会(神田)  
1(水) 信仰と生活委員会: 日の丸・君が代
  - 3(金) 教区企画室 特別委員会  
芝公園H.P.小委員会  
広報区: (教区会館)
  - 4(土) 教区巡回 ランシス・聖エリザ  
主 聖ベスラ礼拝堂(全生園)
  - 5(日) 聖霊降臨後第21主日  
主 聖ベスラ礼拝堂(全生園)
  - 6(月) 聖霊降臨後第21主日  
主 聖ベスラ礼拝堂(全生園)
  - 7(火) 聖霊降臨後第21主日  
主 聖ベスラ礼拝堂(全生園)
  - 9(木) 聖霊降臨後第21主日  
主 聖ベスラ礼拝堂(全生園)
  - 10(金) 聖霊降臨後第21主日  
主 聖ベスラ礼拝堂(全生園)
- ▽東京聖三一教会で蔚山ツ  
アー 長年、姉妹関係をもつて  
きた大韓聖公会釜山教区蔚山聖  
バルナバ教会の、創立30周年記  
念礼拝(10月12日・日)に参加す
- ガンコンサート&タの祈り 10  
月1日(水) 18時半、19時から  
それぞれ。演奏者は吉田愛。入場  
無料(会場献金)。
- ◇秋のバザー情報2(10月)  
12日||真光(11時~14時)・聖  
アグネス(10時~14時)  
19日||聖アンデレ(11時半~15  
時)・聖テモテ(11時半~14時  
半)・諸聖徒(12時~15時)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

日本の幼児教育の発展に尽くした倉橋惣三の言葉に「心のうるおい」というものがあります。  
「柔らかい子どもの心を友とする我らにとりて、絶えず心のうるおいがなくてはならぬ。かわいた、かれた、かさかさした心は、子どもの相手となるに 適切なものではない。」

心のうるおい

富塚陽子

この言葉に触れる  
たび、自分の心はうるおっているのか、  
どんな時うるおっていると感じるの  
らうと考えます。そして思い浮かんだ  
こと、それは子どもと一緒にいる時  
間、子どものことを考えている時間な  
のです。子どもといると、それだけで  
たくさん元気になります。嬉しい  
こと、楽しいことではないになりま

す。毎朝、子どもたちが幼稚園に登園する  
と、そのとたんに全てを忘れ、自分の心が  
笑顔になります。今日はどんな一日にな  
るのだろう、と楽しみにできます。私の心  
は子どもによってうるおわれているの  
でしょう。長い夏休みを終え、久しぶりの  
幼稚園。「先生、会いたかったよ。」  
よ。」という言葉を感じた時  
は、この仕事の遣り甲斐を感じることが  
できました。子どもによつて生かされて  
いる、  
そう思えることで、子どもを  
愛おしく感じ、大切に思える  
のです。また、私は子どもによつて育た  
れ、子どもから多くのことを学んでいま  
す。学び続ける、心うるおうより良い保  
育者を目指すエネルギーを、子どもたち  
からもらっているのです。私は、幸せな  
仕事をしていきます。

(聖公会八王子幼稚園教諭)

## 正義と平和協議会運営

委員会報告 (9月16日)

\* 聖公会平和ネットの全国大会(10月・京都)、日の丸・君が代強制問題等の諸報告。

\* 2009年度予算に『資料集』の出版を組込むことを協議。

\* 『正義と平和便り』は秋の教区会をめぐりに発行(横書き8頁建)を企画。

\* 協議会新規加入者がメールリングリストへ参加しやすいよう申込書を改善することを協議。

\* 教区HPから関連団体へのアクセスの簡素化、および教区内諸催事の開催日程重複回避の対応について協議。

\* その他。

## ▽聖公会神学院寮祭 学生会

主催で10月11日(土) 11時〜16

時。中庭・中教室・礼拝堂などを使用して楽器演奏、昼食・物品ショップ、こどもコーナー、フォトギャラリー、展示コーナー、そしてパイプオルガンコンサート(13時)、歌による夕の礼拝(15時)：と一日楽しめるプログラム。物品ショップへの出店申込みは本日28日中にメールで。アドレスは [gakuseikai@ctc.ac.jp](mailto:gakuseikai@ctc.ac.jp)。

## ▽カパティラン20周年感謝

礼拝 日本で暮らす外国人とともにフィリピン人やその家族を支援してきている「カパティラン」は創立20周年を迎えて、10月11日(土) 14時、聖アンデレ教会および同ホールで記念式典を行なう。

▽牛込聖公会聖バルナバ教会

パイプオルガン演奏会 創立130周年記念催事の一環となる第2回目。10月4日(土) 19時、演奏者はジャン・フィリップ・メルカールト。入場料3千円。チケット申込み・照会の電話 03(3268)8067。

## ◇フェスティバル速報 9月23

日秋分の日、立教女学院で教区大礼拝・祭典が行われ、教役者・信徒・こども・近隣の人など約千2百人が参加した(次号で続報)。捧げられた信施金は約67万8千円、献米は約124キロで、それぞれ指定の働きや施設へ。出店54団体、出展・展示も多数。3分間音楽祭には22教会・グループが参加し、教役者たちは合唱やパフォーマンスで盛り上げていた。

## 【学びと働きから】85

## 全国青年大会に参加して

百聞は一見にしかず、という言葉を、私は、今回の全国青年大会に行つて実感することができた。大会は8月20日(23日、沖縄で行われ、「そこにキリストは共にいる」がテーマだった。

私は現在、明治学院大学国際学部にて在学しており、日々、戦争・環境・金銭的でない豊かな人生などの勉強をしている。沖縄の基地移転問題もニュースや本で知識としては得ていた。正直な気持ちを書かせていただく、全国青年大会に行くまで、私は沖縄の人々が行っている基地移転反対運動に対して、素直

に賛同することができなかつた。全国で失業率が高い沖縄において雇用の一端を担っているじゃないか、という気持ちがあったからだ。

平和の礎やガマへ行き、頭では戦争を否定する概念を理解できても心からそう思うことができずにいたが、辺野古での米軍基地反対運動に携わっているオジーの話聞き、私の中の意識が変わった。私達と共に礼拝を行えたことに対する感謝の言葉、辺野古の自然を愛する気持ち私に響いた。

私は、全国青年大会で心が発端となる行動の大切さを知ることができた。

和田 岳

(東京聖マルチン教会)

## 《今、この教会では…》

## 鏈水聖ケネス礼拝堂

八王子市鏈水(やりみず)1938にあり、多摩美術大学の隣り、故ケネス細入藤太郎立教大学教授を記念し、細入家別荘地にある私的な教会(礼拝堂)です。約30人収容の建物で、教授の書斎を集会所としています。八王子復活教会の分教会です。01年から教授の教え子今井丞治司祭(八王子地区ミッシヨナー)司式で毎月第2・第4の主日10時半から聖餐式があります。京王相模原線南大沢駅または橋本駅(JR橋本駅)からバスで多摩美大停留所からすぐです。今、教会では、東京教区への教会堂寄贈問題が進展せず困っています。(諫山禎一郎)